

チャレンジ農業！次のステージへ！

# 営農情報ならは⑦

檜葉町産業振興課（令和3年3月号）

- ① 檜葉町初！「JGAP」取得！～安心・安全・品質の証明～
- ② ご存じですか？「農林漁業の6次産業化」
- ③ 農業を始めたい方の相談窓口を設置しました！
- ④ チャレンジ農業！～水稻栽培の効率化・省力化～
- ⑤ 農作業を通して健康づくりにチャレンジ！



## 檜葉町初！「JGAP」取得！～安心・安全・品質の証明～

2月19日、檜葉町（上繁岡）で、トマトの養液栽培に取り組んでいる「株式会社ナラハプラントファクトリー（代表取締役：青木浩一さん）」がJGAPを取得しました。JGAP（ギャップ）とは、Japan Good（適正な）Agricultural（農業の）Practice（実践）の略で、農林水産省が推進している「農業生産工程管理手法」のことで、認証の取得には、食品の安全性や労働安全、環境保全等の審査内容をクリアする必要があります。

青木さんは「安心・安全・品質の証明となるJGAPを取得したことで、これまで当たり前実践してきたことを目的意識をもって取り組めるようになった。今後も従業員が一丸となって地域に根ざしたトマト栽培に取り組みたい！」とおっしゃっていました。

【耳寄り情報】①直売コーナーの営業時間は、10:30～15:00です。「朝採りの新鮮なトマトをお届けしたい！」という思いもあり午前10時30分から販売します。

②トマト栽培に興味のある方、一緒に働いてみませんか？お問合せはコチラへ👉

株式会社ナラハプラントファクトリー代表取締役 青木浩一  
 福島県双葉郡檜葉町大字上繁岡字中原17-2 TEL：0240-23-5903  
 E-Mail：naraha\_pf.first@outlook.com



## 農作業を通して健康づくりにチャレンジ！

暖かな陽気の訪れとともに農作業シーズンの到来です。健康的に農作業を続けていくために必要な睡眠や栄養、入浴方法等、疲労回復に役立つ情報をお届けします。「その日の疲れは、その日のうちに取って、翌日の仕事に臨みましょう！」お問い合わせは、住民福祉課（保健師）までお願いします ☎0240-23-6102

### 【疲労回復する3つの方法】

- ①睡眠は脳や体の休息時間で疲労を回復させるためにいちばん重要です。
- ②バランスの取れた食生活や栄養素にも気をつけることが大切です。
- ③農作業の後は入浴で心身をリラックスさせるよう心がけましょう！



#### < 睡眠 >

毎日の睡眠は、しっかりとれていますか？睡眠の質を向上させると疲労を回復させる効果があります。なお、昼寝の最適時間は約20分で夜の睡眠8時間に相当すると言われていいます。昼寝を活用すると午後からの農作業等も効率よく進めることができます。☞

#### < 栄養 >

疲労を早めに取り除くための栄養素は、ビタミンやカルシウム、鉄等です。色鮮やかな旬の野菜や果物は、ビタミンも豊富で鉄の吸収率を上げるためにも欠かせません。檜葉町内で生産されている農産物（ユズやタマネギ、さつまいも）にも、ビタミン等が豊富に含まれています。🍷

#### < 入浴 >

疲れを取るには「ぬるま湯（38～40℃）で半身浴」がオススメです。入浴には、リラックス効果があり、疲れた体を休めてくれる効果があります。檜葉町の「天神岬しおかげ荘」は、太平洋を眺めながら、心も体もリフレッシュできます。農作業後の疲労回復にも、是非ご利用ください。🛀

発行日 令和3年3月  
 発行 福島県檜葉町  
 編集 檜葉町産業振興課  
 〒979-0696  
 福島県双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6  
 TEL：0240-23-6104 FAX：0240-25-1234

チャレンジ農業！次のステージへ！  
 ～農作業を通して健康づくり～👉

## チャレンジ農業！～水稻栽培の効率化・省力化～

梶葉町における令和3年産米の作付予定面積は、300haを超えており、毎年、作付面積が拡大してきています。これは、大規模農業生産法人や中小規模の個人農業者の営農努力によるものです。今回は、梶葉町大谷地区の猪狩信康（のぶやす）さんの「水稻栽培の効率化と省力化にチャレンジ」する取り組みをご紹介します！



「鏡面」のような仕上がり（令和3年2月撮影）

猪狩さんは、平成28年から水稻栽培を始め今年6年目。約12haの水田で「福笑い」「夢の香」「天のつづ」「ミルキーQueen」「コシヒカリ」を栽培しています。これまで一般的な田植え作業「移植栽培」や種を水田に直接播く「湛水直播栽培」にも取り組んできました。今年は新たに「乾田直播栽培」に着目し、精度の高い均平化を実現するため通常4月頃に行う代かき（水田に水を流し込み平らに均す）作業を2月に行いました。その後、落水し乾田状態の水田に専用機械で種を播くという新たな手法に取り組む予定です。

信康さんは、「新しいことにチャレンジするのは、ワクワクする！規模拡大を図りながら農業機械の動性能をフルに活用して、乾田直播栽培の面積を拡大していきたい！」とおっしゃっていました。

産業振興課は、農業者を全力でサポートします。次世代を担う若き農業者、町に移住・定住し新規就農する方、農業するなら梶葉町で是非！

### 【水稻の年産別栽培面積】

令和3年産	約300ha
令和2年産	約240ha
令和元年産	約175ha
平成30年産	約58ha
平成29年産	約32ha
平成28年産	約20ha

### 【面積について】

1ha（ヘクタール）=10000㎡  
（100m×100m）≒1町歩

※直播（ちよくは）栽培  
育てた苗を水田に植える従来の方法（移植栽培）に対し、水田に直接、種を播く方法で、播種前の入水の有無により、乾田直播と湛水直播に大別できます。

## ご存じですか？「農林漁業の6次産業化」

### 農林漁業の6次産業化

農林漁業者（1次産業）が生産だけではなく、製造・加工（2次産業）や販売等（3次産業）にも取り組むことで生産物の価値を高め、農業所得の向上を目指す取り組みです。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{1次} & \times & \text{2次} & \times & \text{3次} & = & \text{6次化} \\ \text{生産} & & \text{製造・加工} & & \text{販売等} & & \text{付加価値創出} \end{array}$$



梶葉町は、営農再開の進展に併せて、農林漁業の6次産業化を想定し、農産物処理加工施設（木戸川漁協：指定管理）を整備しました。蒸し器やコンロ、フライヤー等、数種類の機器類が揃っています。利用者からパウダー製造機や急速冷凍庫等の要望も出されていることから産業振興課は、農産物処理加工施設の機器の充実を図るため施設の増設等についても検討を進めています。

### ＜お知らせ＞

梶葉町農産物処理加工施設は、どなた様にも利用可能な施設ですので、お誘い合わせの上ご利用ください！  
木戸川漁業協同組合（指定管理者）  
TEL：0240-25-3414  
利用時間（9:00～16:00）  
料金は、お問い合わせください☺



梶葉町農産物処理加工施設を定期的に利用している古市君江さんらのグループは、町で生産された「ユズ」や「サツマイモ」を活用した新たな特産品の開発にも積極的に取り組んでいます。



## 農業を始めたい方の相談窓口を設置しました！

相談窓口：梶葉町役場 産業振興課（東庁舎）

受付時間：平日午前8時30分から午後5時15分まで

事前予約：相談をご希望の方は、電話等でご予約いただくとスムーズです。

連絡先等：産業振興課 ☎0240-23-6104

相談対応：就農相談サポート記録票により、聞き取り等を行います。

継続支援：計画的に進められるよう就農までサポートします。